学校番号	112

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学演習ＩA	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	改訂版　ベーシックスタイル　数学演習Ⅰ・A受験編（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では「自らが考え課題を解決する活動」「人と協働して課題を解決する活動」を行います。
・授業用ノート（プリント）と課題・問題集用ノート（プリント）を必ず作ります。各時間の振り返りをしっかり行いましょう。
・授業用ノートは，板書を書き写すだけでは，評価されません。解法のポイントや，気づき，クラスメイトの発言，疑問点などもしっかり書きましょう。
・問題集の問題は，まず自力で解きます。その際，答えの導き方が分かるように途中式や求め方も書くようにします。そして，自分で答合わせをすることで，正解の場合は振り返りを，間違いの場合は自分のつまずきを知ることができます。
・グループワークに積極的に取り組んでください。
・復習や予習の家庭学習は絶対に必要です。そのため，宿題・課題を与え提出を求めます。最後まであきらめずに取り組んでください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】数学Ⅰ，Ａの理解をより深め、公式などを正しく使える。
【思考力、判断力、表現力等】融合問題や総合問題を解く力、人間の活動にかかわる事象を数学的に捉え、解決のために論理的・多面的に考える力をつける。
【学びに向かう力、人間性等】積極的に質問をする、ペアワークやグループワークに積極的に取り組む、失敗や間違いを経て理解を深めようとする姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察することができる。適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したり判断することができる。	数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数と式・集合と命題	式の計算 実数 1次不等式 集合と命題	a:公式等の意味を理解し、基本的な計算や解を求めることができる。 b:発展的な計算ができる。式を多面的に捉えて問題を考察できる。 c:事象の数学的な特徴や、他の事象との関係を考察できる。	確認 プリント 定期 考査	定期 考査	レポート 提出物等
	2次関数	2次関数とグラフ 2次関数と値の変化 2次方程式と2次不等式	a:2次関数の基本的な概念を理解し、グラフや2次方程式・2次不等式の解を求めることができる。 b:2次関数を多面的に捉えて問題を考察できる。 c:事象の数学的な特徴や、他の事象との関係を考察できる。	確認 プリント 定期 考査	定期 考査	レポート 提出物等
2学期	図形と計量・データの分析	三角比 三角形への応用 データの分析	a:三角比・データの分析の基本的な意味を理解し、様々な値を求めることができる。 b:三角比・データの分析を多面的に捉えて、問題を考察できる。 c:事象の数学的な特徴や、他の事象との関係を考察できる。	確認 プリント 定期 考査	定期 考査	レポート 提出物等

	場合の数と確率・図形の性質・	場合の数 確率 平面図形 空間図形	a:場合の数と確率・図形の基本的な事柄を理解し、様々な値を求めることができる。 b:場合の数と確率・図形を多面的に捉えて、問題を考察できる。 c:事象の数学的な特徴や、他の事象との関係を考察できる。	確認 プリント 定期 考査	定期 考査	レポート 提出物等
3学期	数学と人間の活動	数学と人間の活動	a:基本的な事柄を理解し、様々な値を求めることができる。 b:多面的に捉えて、問題を考察できる。 c:事象の数学的な特徴や、他の事象との関係を考察できる。	確認 プリント 定期 考査	定期 考査	レポート 提出物等
	数学ⅠÅのまとめ	数学Ⅰ・Aのまとめ	a:基本的な事柄を理解し、様々な値を求めることができる。 b:多面的に捉えて、問題を考察できる。 c:事象の数学的な特徴や、他の事象との関係を考察できる。	確認 プリント 定期 考査	定期 考査	レポート 提出物等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度